

第1回幼児体験学習を行いました



6月18日(木)、外部から6名の参加者を迎え、今年度第1回幼児体験学習を実施しました。広い体育館を会場に夜店屋さんごっこを行い、お面屋さん、もぐらたたき、金魚すくい、ヨーヨー釣り、射的などのコーナーを親子で楽しく回りました。射的では、当たった数によって景品のランクが変わるため、子どもたちは真剣な表情で挑戦し、当てた数を数える経験にもつながりました。また、先生と交代してもぐらたたき屋さんになり、お客さんとして来た友達とのやり取りを楽しむ子どもの姿も見られました。ステージ上にはお化け屋敷を設置しました。毎日の昼休みにお化けごっこを楽しんできた在籍児が先頭に立ち、「大丈夫。怖くないよ。」と友達を励ましながら誘う、頼もしい姿が見られました。本物のかき氷やポップコーン屋さんでは、製造工程に興味津々な子どもたちの姿も見られました。保護者同士では、昨年度も参加されたご家族とお子さんの成長について話したり、子育てや就学に関する情報交換をしたりするなど、交流を深める有意義な時間となりました。

次回の第2回幼児体験学習は、10月22日(木)に開催します。

今年度も筑波技術大学の先生方に来ていただきました

今年度も、学校公開の日に合わせて、国立大学法人筑波技術大学から3名の先生方に来ていただきました。

午後の時間に、高等部生徒対象の出前授業「自分のトリセツ—自分のことを上手に伝えよう—」をしていただきました。今年度初めて授業を受ける生徒は自分のことをどう説明するのかを考えていました。昨年度も同じ授業を受けた生徒は、この1年間の学びを生かして深く考えようとする様子が見られました。

放課後には、教職員対象の研修「共生社会の実現に向けて」をテーマに谷 貴幸副学長に御講話を頂きました。聴覚障がい者があらゆる人と協働して積極的に環境を変えたり作ったりしていくことがこれからの共生社会において重要であると分かりました。

今後も筑波技術大学と連携を図り、本校のより良い教育活動につなげていきたいと考えています。



第1回学校公開を開催しました！

6月13日（土）に開催した学校公開に、外部から50名（幼児児童6名、中高生24名、教員6名、一般14名）の参加があり、本校の教育活動の様子を参観いただきました。

また、同日開催の参観日にも多くの本校保護者に参観いただくことができました。当日は、授業参観に加えて、聴覚障がいの理解や難聴体験の講座、筑波技術大学の先生方に中高等部生徒対象の自立活動の出前授業「自分のトリセツ」を行っていただくなど、大変盛り上がりしました。

今後も本校教育や聴覚障がい者の理解を広げていくことを目指して開催していきます。

今年度の予定 第2回学校公開11月7日（土）、第3回学校公開1月23日（土）

愛媛県難聴児支援センター「みみのひろば」開所式に行ってきました

7月2日（木）に開催された愛媛県難聴児支援センター「みみのひろば」の開所式に、参加してきました。「みみのひろば」では、乳幼児の「きこえ」と「ことば」に関する情報提供や、専門機関への橋渡しなどを行う機関です。開所式の後には、内覧会も行われました。同日に、「愛媛難聴児支援ポータルサイト」も公開されました。私たち松山聾学校も、関係機関として連携を強化していきたいと思います。



「愛媛難聴児支援ポータルサイト」はこちら →



『自立活動、何をしていますか？』～自立活動の取組紹介～

本校で行っている自立活動の取組の一部を紹介していきたいと思います。初回は、小学部低学年での実践です。

動物カードを使った活動を紹介します。動物の写真が載っているカードを使います。

- ① 先生が動物の名前を言って、それに合うカードを探す。
・子どもの実態に応じて、口元をかくして音声だけで伝えたり、鳴き声（モー、ワンワン、など）で伝えたりします。
 - ② 先生が動物の名前を2、3つ連続で言った言葉を覚えて、すべて復唱してから取る。
・最後まで聞く力や短期記憶の力などに繋がります。
- 慣れてきたら、先生と子どもで役割を交代することで、相手を意識して話すことにつながります。

